

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2022年3月期

レイズネクスト株式会社

目次

| | | | | | |
|-----------------|-----|----|------------------|-----|----|
| 1. 2022年3月期決算 | ・・・ | 3 | 2. 2023年3月期業績見通し | ・・・ | 12 |
| 1) 事業環境 | ・・・ | 4 | 1) 事業環境 | ・・・ | 13 |
| 2) 業績概要 | ・・・ | 5 | 2) 業績見通し | ・・・ | 14 |
| 3) 受注高 | ・・・ | 6 | 3) 受注高および完成工事高 | ・・・ | 15 |
| 4) 完成工事高 | ・・・ | 7 | 3. 配当 | ・・・ | 16 |
| 5) 完成工事総利益・営業利益 | ・・・ | 8 | 1) 2022年3月期配当予定 | | |
| 6) 当期純利益 | ・・・ | 9 | および2023年3月期配当予想 | ・・・ | 17 |
| 7) 受注残高 | ・・・ | 10 | 4. 第2次中期経営計画 | | |
| 8) 貸借対照表 | ・・・ | 11 | (2021年度進捗について) | ・・・ | 18 |

1. 2022年3月期決算

1) 事業環境

国内経済

- 前期に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況の中で推移
- 感染対策の徹底やワクチン接種が促進され、景気は持ち直しの動きも見られたが、感染症の再拡大やウクライナ情勢等により、先行きは依然として不透明

事業環境

- 前期はメンテナンス分野で石油・石油化学関連の定期修理工事が多い年
- 当期はこれらの定期修理工事が少なく、前期比で受注高・完成工事高が減少



当社の対応

- メンテナンス分野では、日常保全やタンク関連工事の拡大に注力
- エンジニアリング分野では、一般化学や電子材料などの高機能製品製造プラントや再生可能エネルギー関連の工事の拡大に注力
- 収益面では、直接工事費等の削減、稼働の効率化等により採算性の向上に努めた

2) 業績概要

➤ 受注高、完成工事高は概ね予想どおり、各利益は予想を上回る

(参考) (単位：億円)

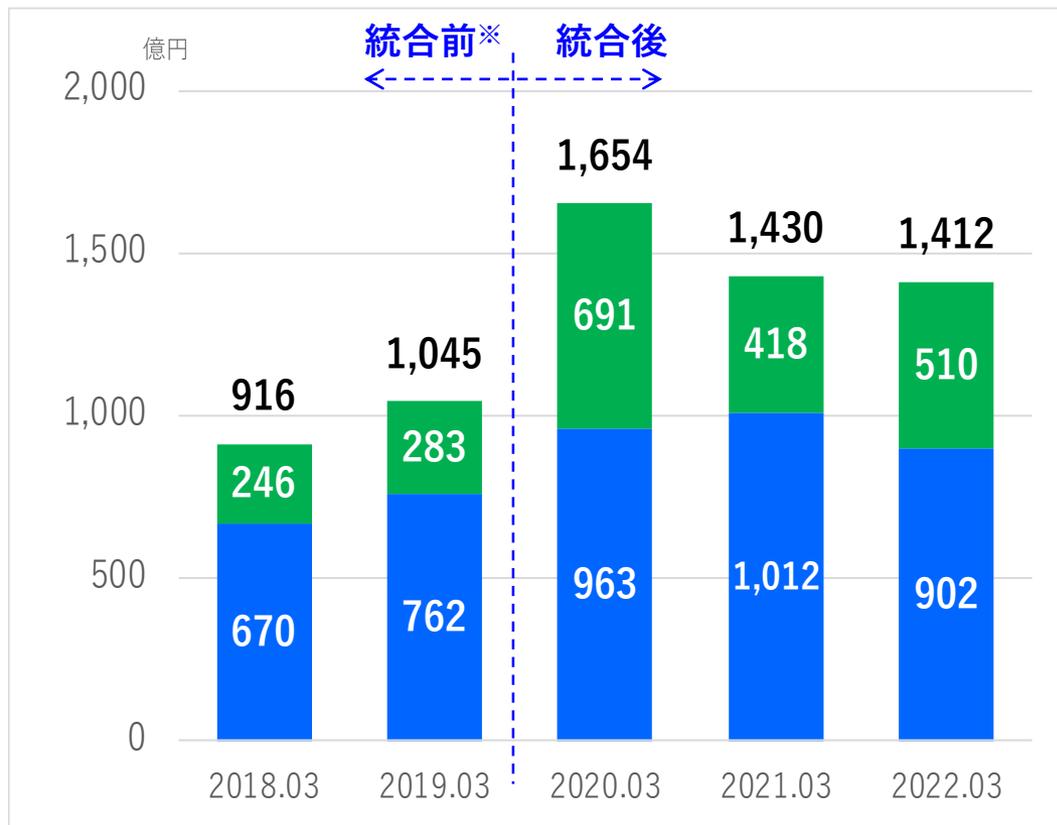
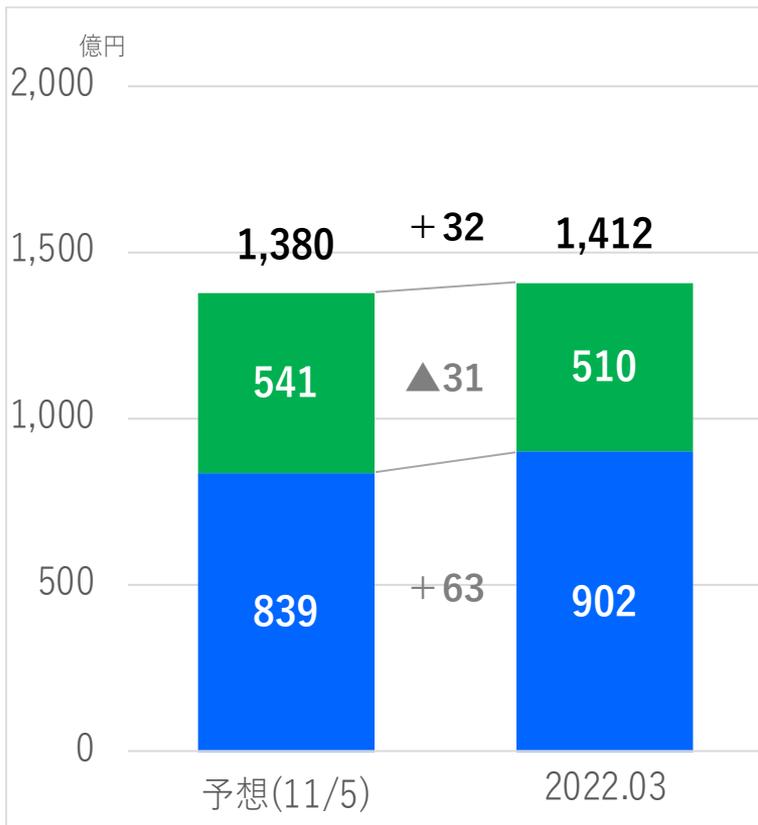
| | 予想(11/5) | 2022.03 | 増減 | 増減率 |
|---------------------|----------|--------------|-------|--------|
| 受注高 | 1,380 | 1,412 | +32 | +2.3% |
| 完成工事高 | 1,330 | 1,298 | -32 | -2.4% |
| 完成工事総利益 | 154.5 | 177.4 | +22.9 | +14.8% |
| (率) | 11.6% | 13.7% | +2.1% | — |
| 販管費 | 68.0 | 67.6 | -0.3 | -0.5% |
| 営業利益 | 86.5 | 109.8 | +23.3 | +26.9% |
| (率) | 6.5% | 8.5% | +2.0% | — |
| 経常利益 | 88.5 | 112.7 | +24.2 | +27.3% |
| (率) | 6.7% | 8.7% | +2.0% | — |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 58.5 | 77.4 | +18.9 | +32.3% |
| (率) | 4.4% | 6.0% | +1.6% | — |

| | 前期(2021.03)との差異 | |
|-------|-----------------|--------|
| | 前期比 | 増減率 |
| 1,430 | -18 | -1.2% |
| 1,459 | -161 | -11.0% |
| 164.1 | +13.3 | +8.1% |
| 11.3% | +2.4% | — |
| 60.2 | +7.3 | +12.2% |
| 103.8 | +6.0 | +5.8% |
| 7.1% | +1.4% | — |
| 106.5 | +6.2 | +5.8% |
| 7.3% | +1.4% | — |
| 73.4 | +4.0 | +5.4% |
| 5.0% | +1.0% | — |

3) 受注高

- メンテナンスでは、工事量の上振れにより予想を上回る
- エンジニアリングでは、次期への期ずれ、失注などにより予想を下回る

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

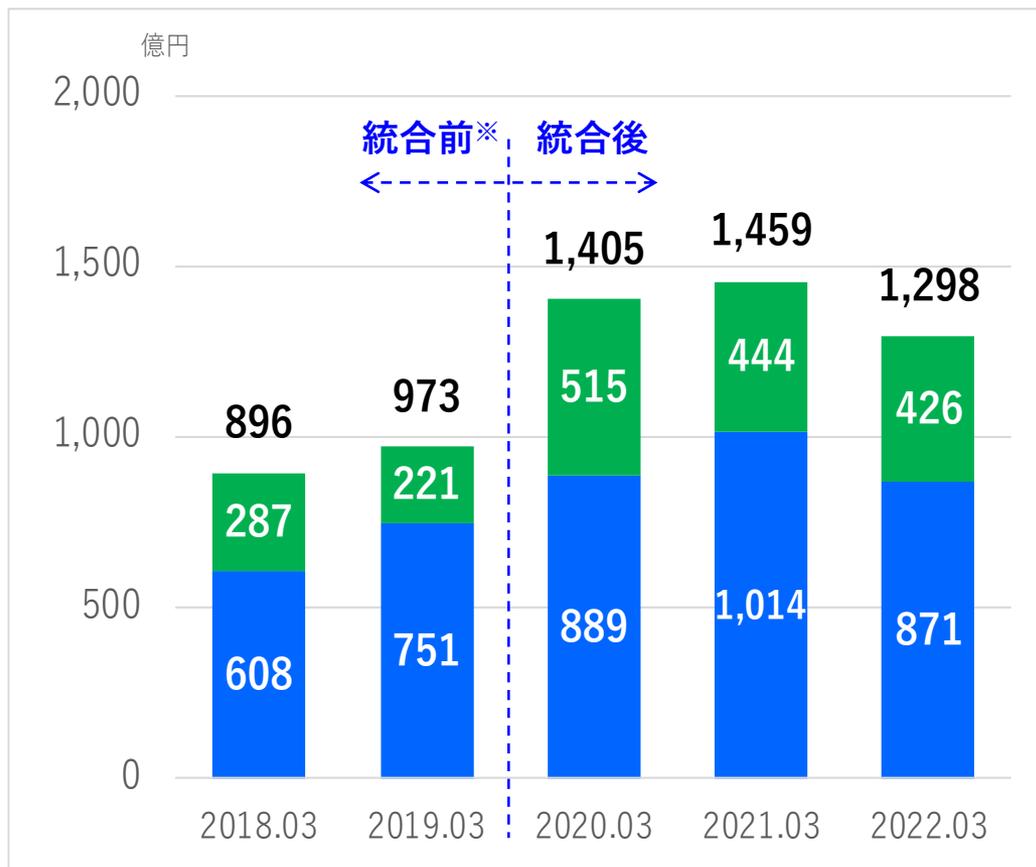
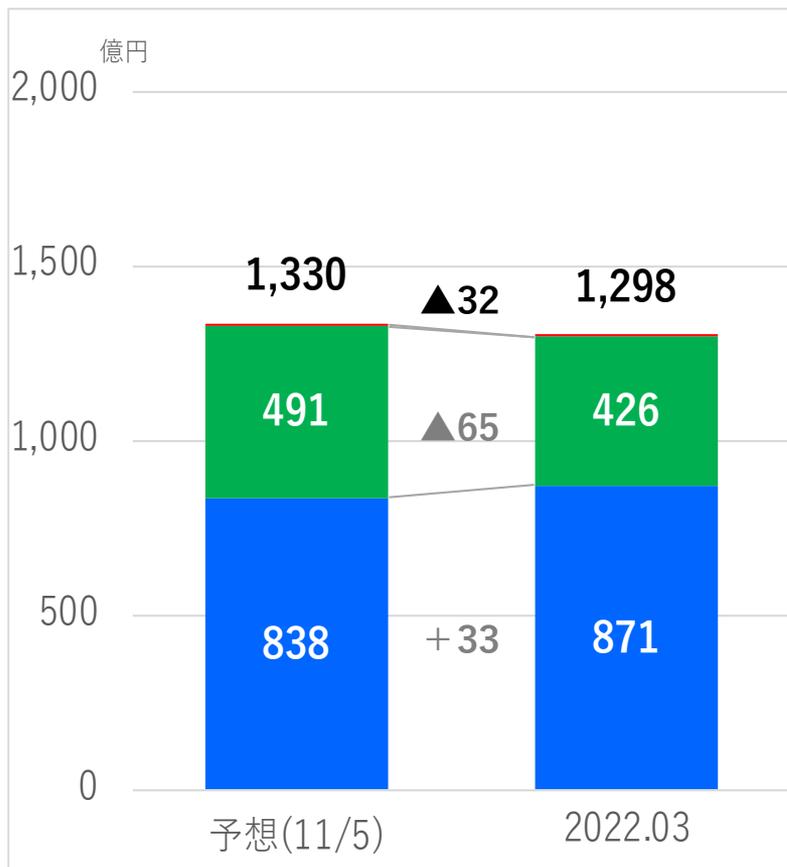
特記事項

① 2020年3月期の受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたものを含む。

4) 完成工事高

- メンテナンスでは、工事量の上振れにより予想を上回る
- エンジニアリングでは、工期の変更に伴う期ずれなどにより予想を下回る

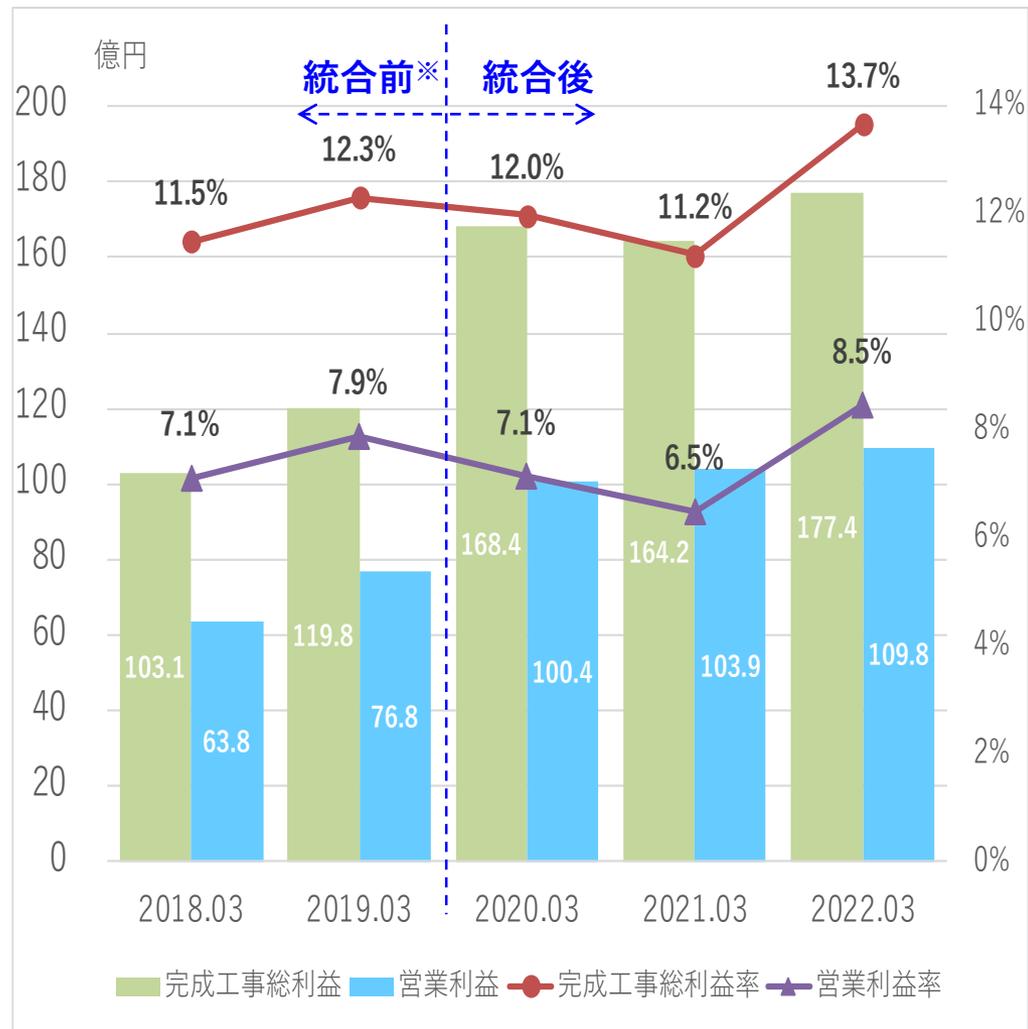
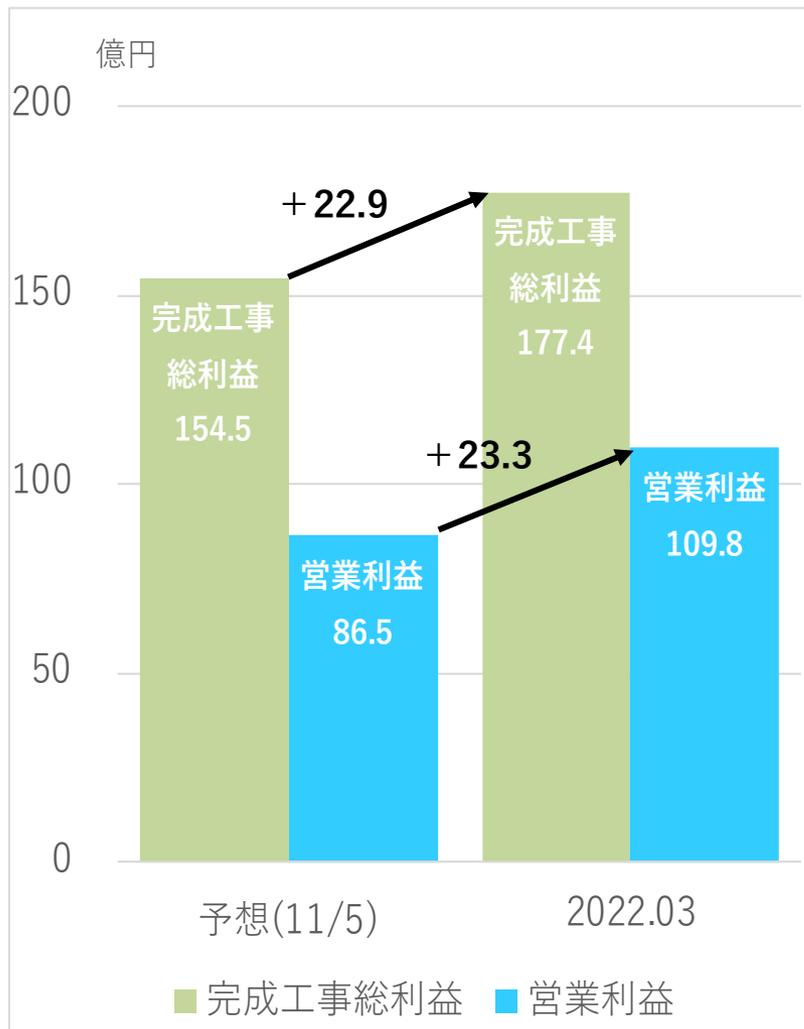
■ メンテナンス ■ エンジニアリング



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

5) 完成工事総利益・営業利益

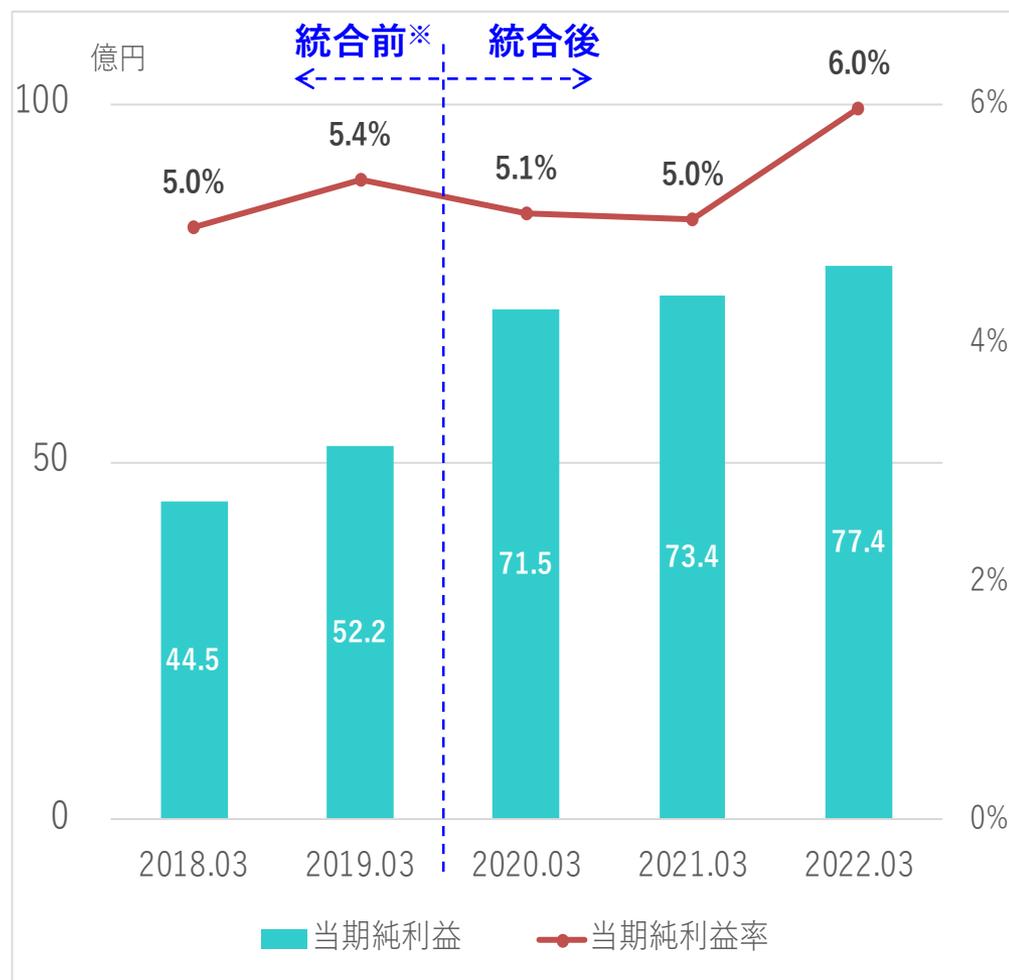
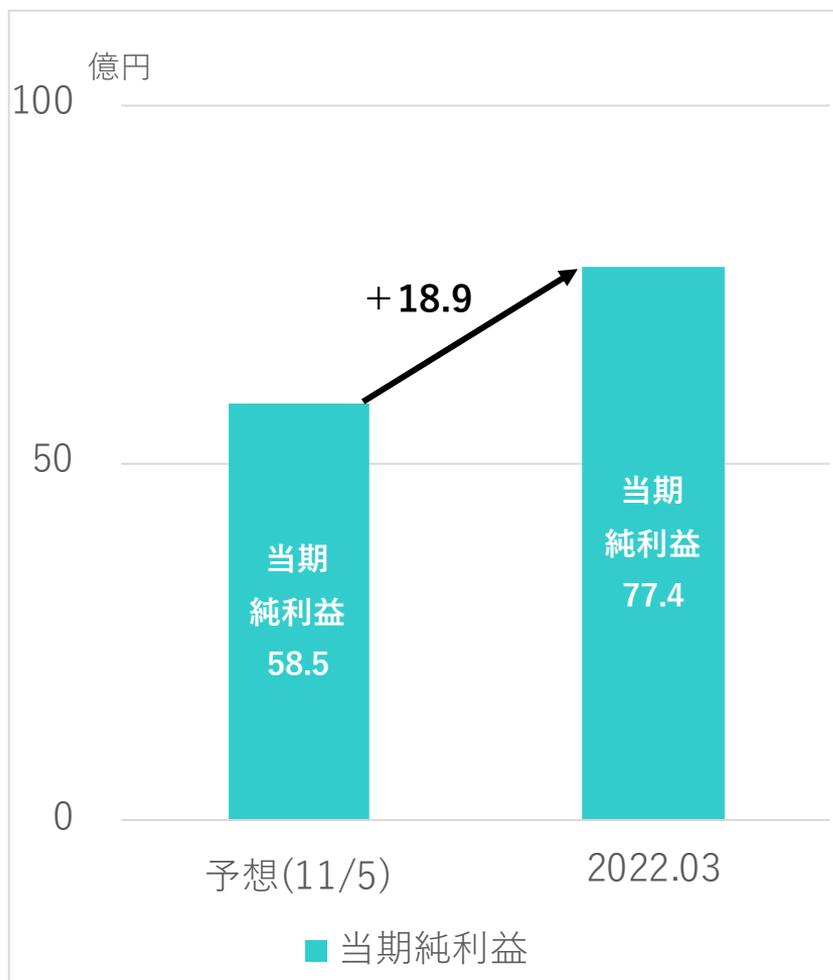
- 改造改修工事等の工事量が当初の想定を上回ったことに加え、各工事で直接工事費や経費の削減、稼働の効率化などに努めた結果、完成工事総利益・営業利益が予想を上回る



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

6) 当期純利益

➤ 完成工事総利益が増加したことにより、当期純利益は予想を上回る

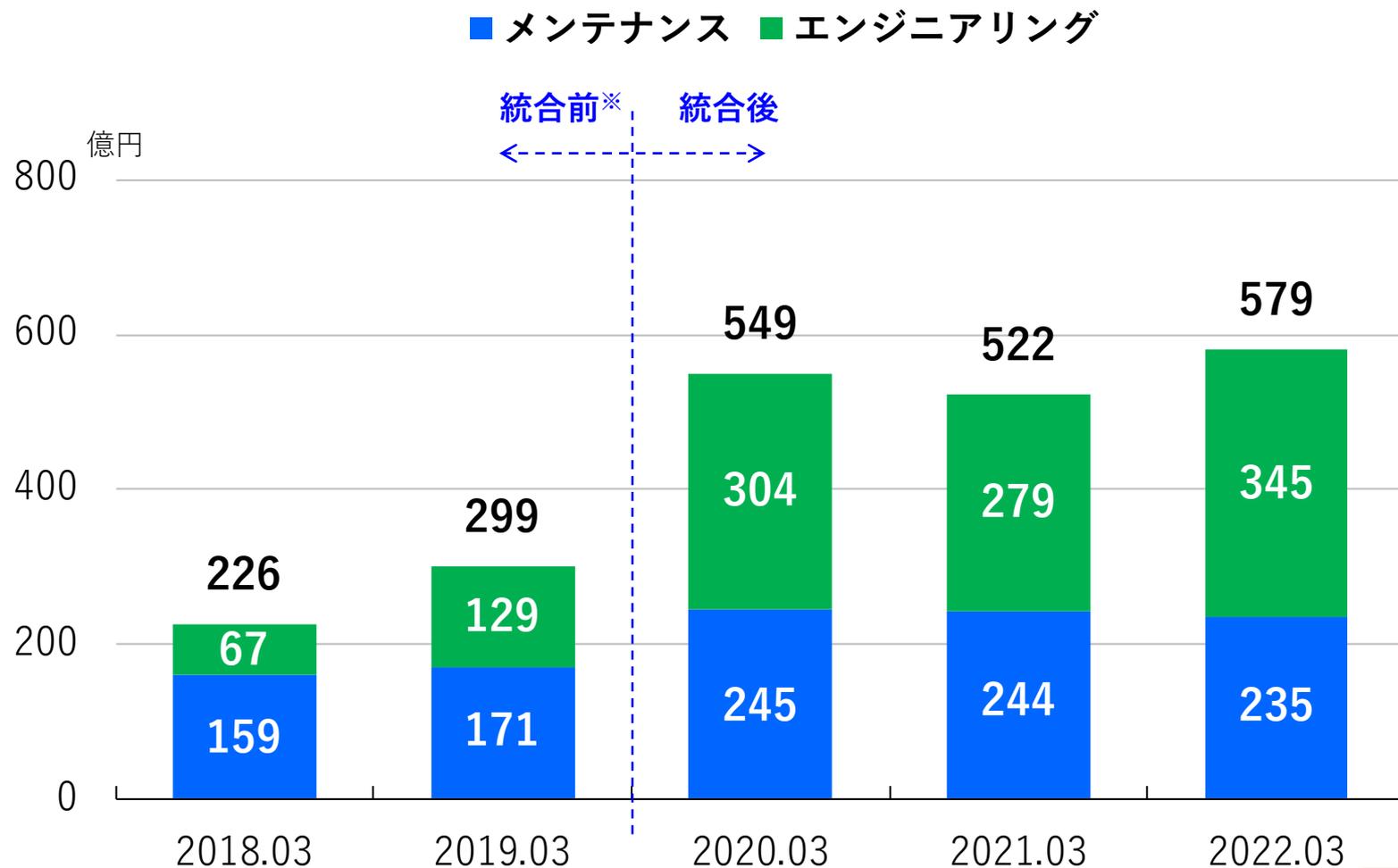


※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 上図のグラフの2020.03の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いた当期純利益となっております。

7) 受注残高

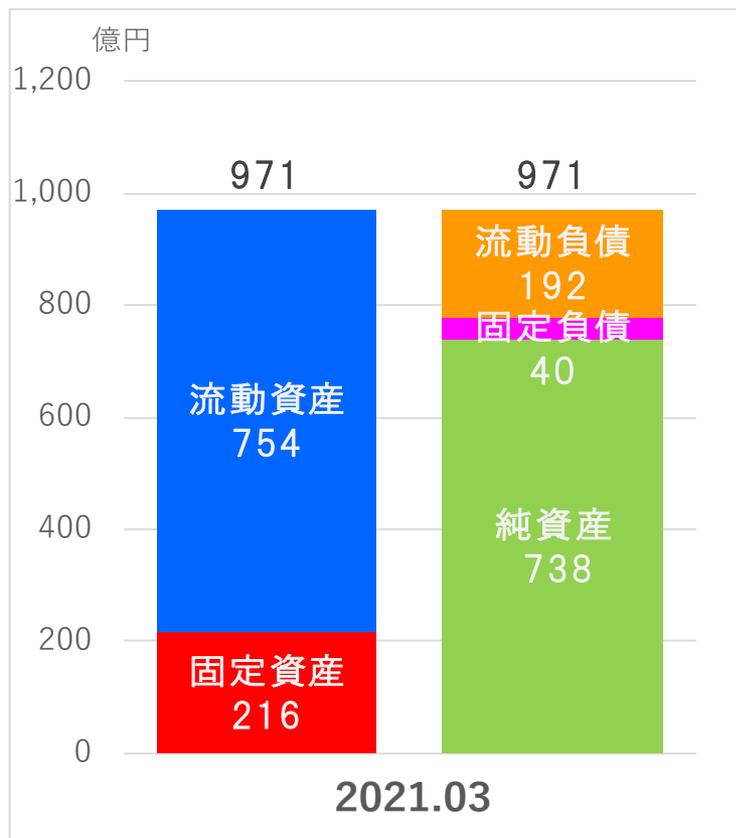
- メンテナンスは、前期比で大きな変動なし
- エンジニアリングは、完成工事高の工期の変更に伴う期ずれにより、前期比で増加



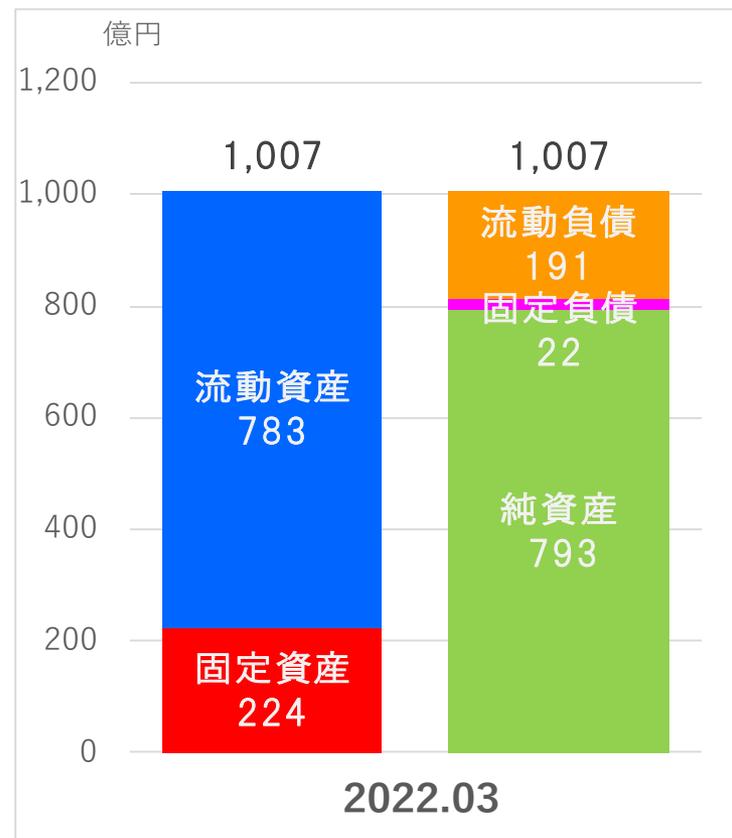
※統合前は、旧新興プラントック(連結)のみの数値である。

8) 貸借対照表

- 資産の部 . . . 流動資産および固定資産に大きな変動なし
- 負債の部 . . . 流動負債に大きな変動なし
固定負債で退職給付に係る負債が減少
- 純資産の部 . . . 当期純利益、退職給付に係る調整累計額が増加
- 自己資本比率は78.0%、ROE（自己資本当期純利益率）は10.2%



自己資本比率 : 75.0%
ROE : 10.5%



自己資本比率 : 78.0%
ROE : 10.2%

2. 2023年3月期業績見通し

1) 事業環境

国内経済

- 社会経済活動が正常化に向かう中で、景気が持ち直していくことが期待されるが、ウクライナ情勢等による原材料価格の上昇や供給面での制約等が懸念され、引き続き不透明な状況が継続するものと考えられる

事業環境

- 受注高は、2022年3月期は複数の大型工事の受注により高水準となったが、2023年3月期は前期より減少する見込み
- 完成工事高は、2022年3月期は定期修理工事が少なかったが、2023年3月期は回復傾向の見込み



当社の対応

- メンテナンス分野では、日常保全や改造改修のメンテナンス工事の拡大に努める
- エンジニアリング分野では、一般化学や電子材料などの高機能製品製造プラントや再生可能エネルギー関連工事の拡大に努める

2) 業績見通し

- 受注高および完成工事高は、2022年3月期の期初予想と同水準の見込み
- 各利益は、2022年3月期の期初予想に対し増加する見込み

(単位：億円)

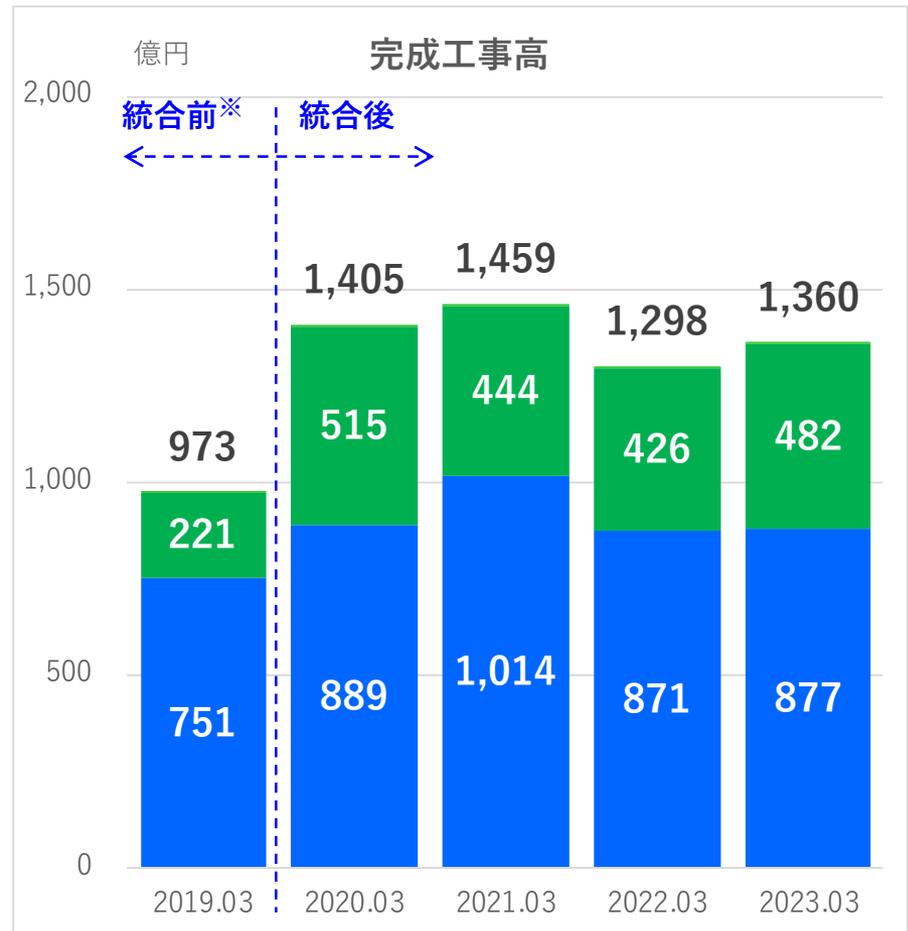
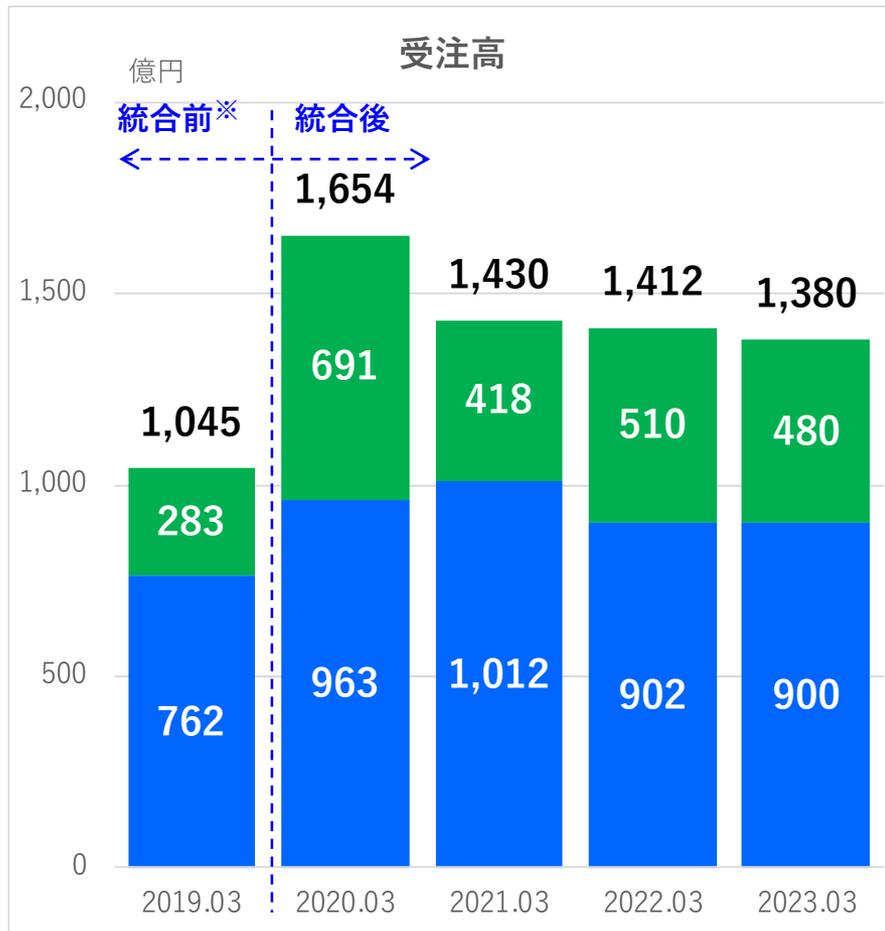
【参考】

| | 中 間 期 | | | | 通 期 | | | | 通 期 |
|---------------------|---------------|---------------|--------|--------|---------------|----------------|---------|--------|-----------------|
| | 2021.09 実績 | 2022.09 予想 | 増減 | 増減率 | 2022.03 実績 | 2023.03 予想 | 増減 | 増減率 | 2022.03 期初予想 |
| 受 注 高 | 620 | 670 | +50 | +8.1% | 1,412 | 1,380 | -32 | -2.3% | 1,380 |
| 完 成 工 事 高 | 673 | 700 | +27 | +4.0% | 1,298 | 1,360 | +62 | +4.8% | 1,330 |
| 完成工事総利益 | 89.3 | 88.0 | -1.3 | -1.5% | 177.4 | 164.0 | -13.4 | -7.6% | 143.0 |
| (率) | 13.3% | 12.6% | -0.7% | - | 13.7% | 12.1% | -1.6% | - | 10.8% |
| 販 管 費 | 33.0 | 35.0 | +1.9 | +5.8% | 67.6 | 70.0 | +2.3 | +3.5% | 65.0 |
| (率) | 4.9% | 5.0% | +0.1% | - | 5.2% | 5.1% | -0.1% | - | 4.9% |
| 営 業 利 益 | 56.2 | 53.0 | -3.2 | -5.7% | 109.8 | 94.0 | -15.8 | -14.4% | 78.0 |
| (率) | 8.3% | 7.6% | -0.7% | - | 8.5% | 6.9% | -1.6% | - | 5.9% |
| 経 常 利 益 | 57.6 | 54.0 | -3.6 | -6.3% | 112.7 | 96.0 | -16.7 | -14.8% | 80.0 |
| (率) | 8.6% | 7.7% | -0.9% | - | 8.7% | 7.1% | -1.6% | - | 6.0% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 34.7 | 35.5 | +0.8 | +2.3% | 77.4 | 63.0 | -14.4 | -18.6% | 51.5 |
| (率) | 5.2% | 5.1% | -0.1% | - | 6.0% | 4.6% | -1.4% | - | 3.9% |
| 1株当たり当期(中間)純利益 | 64.14円 | 65.53円 | +1.38円 | +2.2% | 143.04円 | 116.31円 | -26.74円 | -18.7% | 95.08円 |
| 受 注 残 高 | 412 | 550 | +138 | +33.5% | 579 | 600 | +21 | +3.6% | 574 |

3) 受注高および完成工事高

- 受注高は、メンテナンスおよびエンジニアリングともに前期と大きな変動なし
- 完成工事高は、メンテナンスは大きな変動なく、エンジニアリングは前期より増加予想

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 2023.03の数値は予想値となっております。

3. 配当

1) 2022年3月期配当予定および2023年3月期配当予想

配当に関する基本認識および配当方針

当社グループの事業は、石油、石油化学、一般化学等のプラント関連のメンテナンス事業およびエンジニアリング事業を基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであると認識しております。

この認識のもと、株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考え、配当の継続性および安定性という面にも充分留意し、40%以上の連結配当性向を目標といたします。

2022年3月期配当予定

● 期末配当 58円 (連結配当性向 40.5%)

2023年3月期配当予想

● 期末配当 58円 (連結配当性向 49.9%)

✓ 配当の安定性にも留意し、2022年3月期の配当予定（58円）と同額

第2次中期経営計画 (2021年度進捗について)

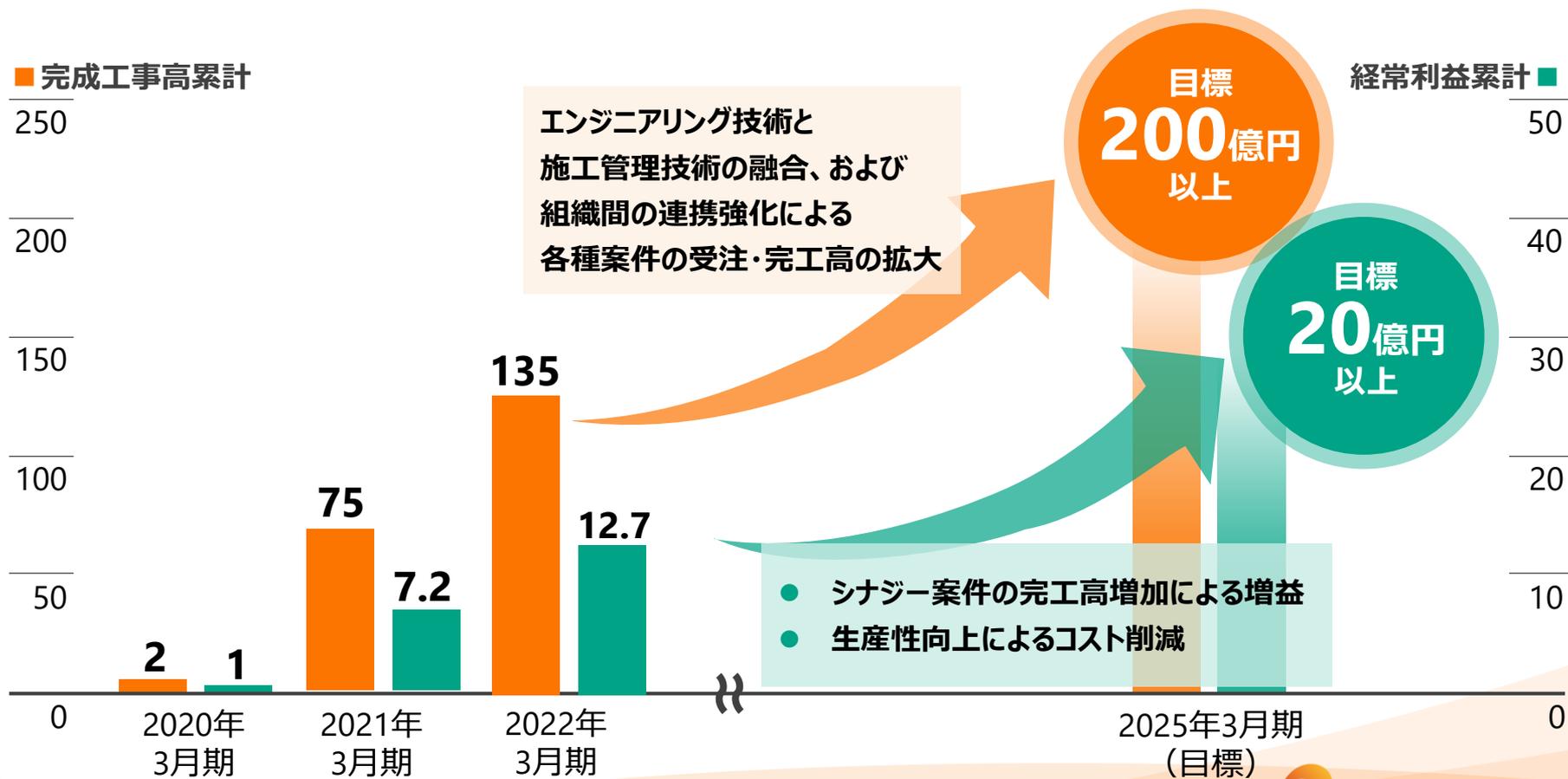
経営数値目標

第2次中期経営計画の最終年度目標と本年度実績は
下記の通りです

| (連結) | 項目 | 2021年度 (2022年3月期) | 2024年度 (2025年3月期) |
|--------------|--------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 業績目標 | 完成工事高 | 1,298 億円 | 1,450 億円 |
| | 営業利益 (利益率) | 109 億円 (8.5%) | 105 億円 (7.2%) |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 (利益率) | 77 億円 (6.0%) | 70 億円 (4.8%) |
| 経営指標 の目標値 | 自己資本当期純利益率 (ROE) | 10.2% | 8% 以上 |
| | 連結配当性向 | 40.5% | 40% 以上 |

シナジー効果（実績と目標）

第1次・第2次中期経営計画期間に累計額で「完成工事高**200**億円以上」
「経常利益**20**億円以上」のシナジー効果創出をめざす



経営基盤の強化と各事業戦略



メンテナンス事業の強化

- 全社生産計画システムの効果的運用
- 協力会社ネットワークの強化と動員力維持



エンジニアリング事業の強化

- 事業遂行体制と技術力のさらなる強化
- 再生可能エネルギー等の新規分野における受注拡大



タンク事業の強化

- 全社的運営体制のさらなる強化と協力会社の体制強化
- 水素貯蔵タンクの設計・施工技術の調査・検討

- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



経営基盤の強化

- グループ全体のガバナンス体制強化
- 時間外労働上限規制・新しい働き方への対応
- 人材の確保と育成
- CSR活動およびSDGsを含めたESG経営
- DXの推進
- シナジー効果の創出

経営基盤の強化と各事業戦略（進捗と成果）



メンテナンス事業の強化

- 全社生産計画システムの効果的運用
- 協力会社ネットワークの強化と動員力維持
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化

進捗

- 全社生産計画システムの改訂作業を実施
- 協力会社との連携強化に向けた調整等を実施
- 石油元売会社／化学メーカーにおける定修工事の新規エリア参入に向け積極的に応札

成果

- プラント新設工事に引き続き同エリア定修工事の受注達成

経営基盤の強化と各事業戦略（進捗と成果）



エンジニアリング事業の強化

- 事業遂行体制と技術力のさらなる強化
- 再生可能エネルギー等の新規分野における受注拡大
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化

進捗

- 社内JV制度を積極的に展開・実行
- 再生可能エネルギー分野の活動として、顧客関連部署への調査を実施

成果

- 社内JV制度を活用した各種工場建屋建設工事の受注
- CO2回収実証試験に参画し、CO2回収設備の設置工事を完工
- 顧客の計画／予算化段階から参画することによる新設・改造工事の受注拡大

経営基盤の強化と各事業戦略（進捗と成果）



タンク事業の強化

- 全社的運営体制のさらなる強化と協力会社の体制強化
- 水素貯蔵タンクの設計・施工技術の調査・検討
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化

進捗

- タンク生産管理システムを改善し、事業遂行体制を強化
- 顧客訪問や関連セミナーへの出席等、水素貯蔵タンクの技術・需要・環境等の調査・情報収集を実施

成果

- 石油備蓄会社の地下タンク開放検査工事を再受注
- 未参入の化学メーカーのタンク工事を新規受注

経営基盤の強化と各事業戦略（進捗と成果）



経営基盤の強化

- グループ全体のガバナンス体制強化
- 時間外労働上限規制・新しい働き方への対応
- 人材の確保と育成
- CSR活動およびSDGsを含めたESG経営
- DXの推進
- シナジー効果の創出

進捗

- DX推進室を設立し、基本方針や戦略・戦術を明確化
- 「時間外労働管理ガイドライン」（2021年度、2022年度版）を作成し、展開

成果

- プライム市場への移行対応
- CSA（統制自己評価）制度を導入し、ガバナンス体制を強化
- サステナビリティ経営体制を整備

この資料には、2022年5月19日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8

経営企画部 業績・IRグループ

TEL：045-415-1500／FAX：045-415-1120

E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp

URL：https://www.raiznext.co.jp



レイズネクスト株式会社